

## 御香宮献茶式(京都府)：平成 31 年 4 月 6 日(土)

御香宮神社にて、献茶式が執り行われました。

午前 10 時に本殿にて不徹斎宗匠が茶を献じられ、水屋は佐伯宗徳先生がつとめられました。

献茶終了後は九社殿に拝服席が設けられました。



献茶式(本殿にて)



拝服席 木庵和尚揮毫

濃茶席は九香軒に設けられ、芳野宗春先生が担当されました。



副席(九香軒にて)

薄茶席は貴賓館に設けられ、小林徹信先生が担当されました。



副席(貴賓館にて)

満開の桜に鶯のさえずりが響く春爛漫の空気の中、境内は終始賑わっておりました。

## 知恩院献茶式(京都府)：平成 31 年 4 月 25 日(木)

知恩院にて献茶式が執り行われました。

午前 10 時より法然上人御堂にて、随縁斎若宗匠が献茶奉仕されました。

水屋は木津宗詮先生がつとめられました。

献茶終了後は和順ホールに拝服席が設けられました。



献茶式(法然上人御堂にて)

濃茶席は白寿庵に設けられ、赤羽根守一先生が担当されました。



副席(白寿庵にて)

薄茶席は華麓庵に設けられ、佐伯宗徳先生が担当されました。



副席(華麓庵にて)

生憎昼過ぎには茶席を一時中断する程の大雨に降られましたが、皆様のお力もあり無事盛会裏に終えること叶いました。

## 春日大社献茶式(奈良県)：令和元年5月10日(金)

春日大社本殿前の舞殿にて不徹斎宗匠、随縁斎若宗匠のご奉仕により献茶式が執り行われました。  
まず、随縁斎若宗匠が炭をあらため、神官より授かった雲井水を釜に満たされました。  
続いて不徹斎宗匠がこのご神水にて濃茶・薄茶の二碗を点て、神前に献じられました。  
水屋は佐伯宗江先生がつとめられました。  
献茶終了後は貴賓館に拝服席が設けられました。



炭点前を前に神官よりご神水を授かる随縁斎若宗匠



献茶奉仕される不徹斎宗匠

濃茶席は桂昌殿に設けられ、佐伯宗江先生が担当されました。



副席(桂昌殿にて)

薄茶席は感謝共生の館に設けられ、奈良官休会が担当しました。



副席(感謝共生の館にて)

古都奈良とあって観光客や修学旅行生が行き交い、境内では時折鹿の姿も見受けられるなど終始和やかな空気に包まれていました。

## 賀茂御祖神社（下鴨神社） 献茶式(京都府)：令和元年 5 月 25 日(土)

午前 10 時より、舞殿にて献茶式が執り行われました。

不徹齋宗匠が炭点前をされ、続いて随縁齋若宗匠が茶を献じられました。

水屋は高島守徹先生がつとめられました。



炭点前をされる不徹齋宗匠



献茶奉仕される随縁齋若宗匠

拝服席は嶺雲会が担当しました。副席は下鴨茶寮に設けられ、卜深庵木津宗詮先生が担当されました。



拝服席(参集殿にて)



濃茶席(下鴨茶寮にて)

この献茶祭は上賀茂神社と同社で行われる「鴨の神」の祭礼である葵祭が無事に斎行されたことを神前に報告するものです。



同社の御神紋ともなっている境内の双葉葵

当日は5月とは思えぬ程の真夏日となり、汗ばむ陽気の中御参会の方々は美味しい御茶を楽しまれました。



## 生田神社献茶式（兵庫県） 令和元年 9 月 22 日（日）

午前 11 時より拝殿において、献茶式が執り行われました。

随縁齋若宗匠が炭点前をされ、続いて不徹齋宗匠が茶をご祭神に献じられました。

水屋は木津宗詮先生がつとめられました。



炭点前をされる随縁齋若宗匠



献茶奉仕をされる不徹齋宗匠

拝服席は高島守徹先生が担当しました。



拝服席（神泉亭にて）

副席は三浦大徹先生が担当しました。



副席（生田神社会館内 菊の間にて）

台風 17 号の影響で天候や交通状況に乱れが出るのではと懸念されたものの、滞りなく無事に終了しました。

## 水無瀬神宮献茶式（大阪府） 令和元年 11 月 13 日（水）

午前 11 時より拝殿において、献茶式が執り行われました。

随縁齋若宗匠が炭点前をされ、続いて不徹齋宗匠がご祭神に茶を献じました。



炭点前される随縁齋若宗匠



献茶奉仕される不徹齋宗匠

拝服席は芳野宗春先生が担当しました。



拝服席（齋館にて）

副席は大阪官休会が担当しました。



副席（妙喜庵にて）

紅葉が映える秋晴れの、暖かな天候に恵まれた茶会となりました。

## 大徳寺献茶式 令和元年 11月22日(金)

午前10時より法堂にて、御開山大燈国師祥月忌法要(開山忌)の献茶式が執り行われました。  
不徹斎宗匠が炭点前をされ、続いて随縁斎若宗匠が大燈国師に茶を献じました。



炭点前される不徹斎宗匠



献茶奉仕される随縁斎若宗匠

拝服席は官和会が担当しました。



拝服席（聚光院 広間にて）

副席の濃茶席は木津宗詮先生が担当しました。



副席（芳春院内高林庵にて）

天候があやぶまれましたが、滞りなく盛會に終わりました。